

## 2 指導計画の調査及び考察

### (1) 各学年単元数の比較

県内各地の小学校の指導計画における単元数は表の通りである。

	5単元	6単元	7単元	8単元	9単元	10単元	11単元	12単元
1年	3	7	10	6	26	8	0	0
2年	4	2	5	2	15	27	3	2

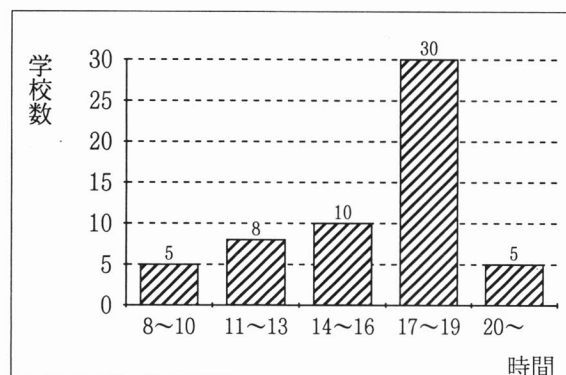
① 内容的に同じような活動を大きなまとまり(大単元)とし、少ない単元数で設定している小学校が見られる。

② 第1学年では、9単元、第2学年では10単元で設定している小学校が多い。これは、本県で採用している生活科教科書の影響が大きいと考えられる。指導計画のそれぞれの単元の時数や小単元名、活動内容を比較していくと、19校では教科書会社で設定した指導計画とほぼ同じであることがわかる。

教科書は標準的なものとして作成されているが、児童の実態や地域の自然環境、社会環境などの実態が違う福島県の各校で同じように活用することは難しく、指導計画にはその学校らしさが出てくるべきであろう。

### (2) 第1学年単元における時数配分および内容

#### ① 単元名 「楽しい学校」<sup>注2</sup>



※ グラフにおいて、各校の指導計画に充当する単元がない場合、総数が60に満たないものもある。

注2 単元名については、一般的に用いられているものとした。

この単元の最低時間設定は8時間、最高は24時間と時数に幅がある。18時間で設定している場合が最も多い。

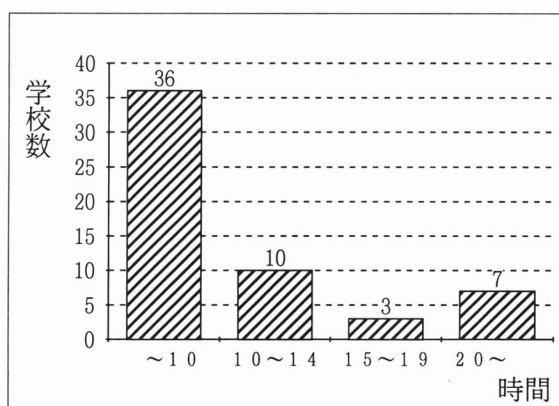
単元の小単元(活動)を比較すると次のようなことがわかる。

ア 時数の少ない小学校は、学校規模が小さく、入学前から児童相互の人間関係がある程度作られていたり、学校施設などが狭いことから、時数を少なく設定している。

イ 時数が多い小学校は、大規模校に多く、新しい友達が増えたことから「友達と遊ぼう」や「探検(校舎内の探検、校舎外の探検)」に十分な時間を確保している。また、「探検」は1回で終わるのでなく、数回実施している。繰り返すことで、気付きの深まりや広がり期待しているものである。

#### ② 単元名 「公園で遊ぼう」

この単元については、10時間以上に設定している学校が半数以上である。



ア 20時間以上の設定の場合、公園を一度だけの学習材として取り上げるのではなく、内容(3)の「～身近な自然を観察し季節の変化に気付き～」と関連させ、春夏秋冬に公園を訪れ、季節の変化に気付くよう計画している場合が多い。

イ 学校近辺に公園がない2つの小学校では、